

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月28日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	姉妹都市交流事業	コード	165106
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 秘書室	作成者 小松 隆広
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政 策	総合計画の推進に向けて	施 策	その他
		予算科目	姉妹都市交流事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	岡谷太鼓祭りへ姉妹都市関係者を招待するとともに、各都市のイベント等に参加する。
目的	対象者 市民
	意 図 姉妹都市間の相互理解を深めるとともに交流の充実を図る。

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
	○岡谷太鼓祭りでの交流（8月13～14日） 内 容：富岡市、玉野市、東伊豆町の関係者（市・市議会・商工会議所・観光協会）を招き交流を深めた。 参加者：富岡市9名、玉野市4名、東伊豆町11名、岡谷市27名 合計51名
	○玉野市の「たまの・港フェスティバル」に参加（5月18日～19日） 内 容：市、商工会議所、観光協会等から8名が参加し、交流を深めた。
	○東伊豆町の「稲取温泉どんつく祭り」に参加（6月4日～5日） 内 容：市、市議会、商工会議所、観光協会から10名が参加し交流を深めた。
前年度の課題への対応	姉妹都市のイベント等へ参加する中で岡谷市のPRを行った。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	交流事業数			単位 人
実績値	2	5	3	
*指標の説明	交流事業への直接的な参加人数（富岡市とは隔年交流）			
② 成果指標（指標名）	交流事業への参加者数			単位 人
目標値	54	94	77	84
実績値	61	93	69	
達成度	113.0%	98.9%	89.6%	
*指標の説明	交流事業への直接的な参加人数（富岡市とは隔年交流）			
*目標値の設定方法の説明	前々年度実績数値による（富岡市とは隔年交流）			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用 (人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位: 円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	203,392	367,787	238,318	474,000
経常経費	203,392	286,647	238,318	387,000
臨時的経費	0	81,140	0	87,000
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト(①+②)	1,003,392	1,167,787	1,038,318	1,274,000
前年度比		116.4%	88.9%	122.7%
財源内訳				
一般財源	1,003,392	1,167,787	1,038,318	1,274,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	501,696	217,329	346,106	
前年度比		43.3%	159.3%	
⑤ コストに関する補足説明	交流事業の回数又は参加人数の減により、直接事業費が減少したため。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位: 件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
姉妹都市交流事業開 催市負担金	件数	1	1	1	1
	金額	167,500	140,500	159,500	195,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	167,500	140,500	159,500	195,000
	割合	82.35%	38.20%	66.93%	41.14%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 74.2%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 89.6%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 民間レベルでの交流の拡大・推進	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 互いの都市の魅力をPRしながら、民間交流の拡大を模索する。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月から	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--